【アレルギー疾患の最新疫学】
花粉症を含むアレルギー性鼻炎の疫学

出典　　アレルギーの臨床(0285-6379)26巻1号 Page23-26(2006.01)
(http://search.jamas.or.jp/link/ui/2006059248)

著者　　大久保公裕　他

調査地域　　全国

調査時期　　2001年4月～7月

調査対象　　3～79歳

依頼数　　10920人
回収率　　56%

診断方法　　独自の質問表（診断用質問4問）

地域別花粉症有症率　　東北：　13.7%
北関東：21.0%
南関東：23.6%
東海：　28.7%
北陸：　17.4%
甲信越：19.1%
近畿：　17.4%
四国：　16.9%
中国：　16.4%
九州：　12.8%

調査概要　　アレルギー性鼻炎の論文考察。スギ花粉症有病率は増加傾向にあり、スギ花粉飛散数と相関がある。一方、ブタクサの花粉症は減少傾向にあり、花粉症の有病率は刻々と変化しているので継続的な調査が必要である。